

プラズマ・核融合学会誌

第95巻第1号

2019年1月

巻頭言	2019年の年頭にあたり	竹入 康彦	1
解説	レーザー駆動中性子源および関連計測 ... 西村 博明, 有川 安信, 安部 勇輝, 余語 覚文		3
小特集	マテリアル工学およびエネルギー・環境工学を進展させる熱プラズマの生成と計測		
	1. はじめに	村 上 朝 之	11
	2. 先端誘導結合型熱プラズマの生成と計測	田 中 康 規	13
	3. 多相交流アークの生成と計測	田 中 学, 渡 辺 隆 行	20
	4. 水プラズマによる廃棄物からの水素製造	渡 辺 隆 行	27
	5. 熱プラズマプロセッシングの今後の展望	渡 辺 隆 行	34
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト			36
インフォメーション			37
	ITER だより ⁽⁷³⁾		
	ITPA (国際トカマク物理活動) 会合報告 ⁽⁶⁸⁾		
	【会議報告】 27th IAEA Fusion Energy Conference (FEC2018) / 第27回国際土岐コンファレンスおよび第13回アジア太平洋プラズマ理論会議 (ITC27&APPTC2018)		
Plasma & Fusion Calendar			50
本 会 記 事			52
	第35回プラズマ・核融合学会年会報告 / 第35回年会 若手学会発表賞 選考結果の報告 / 第17回高校生シンポジウムへのご協力のお祝い / 学会賞募集のお知らせ		
編 集 後 記			

表紙の絵

回転偏光子法を用いた、結晶水晶中のファラデー効果測定の写真. 古典的な電子運動論によると, ITERポロイダル偏光計では結晶水晶製の真空窓でファラデー回転が発生し, 測定の誤差になる可能性があった. 0.3 T のネオジム磁石の中に 10 mm 角の結晶水晶を設置し, 5.4 mm に絞った波長 119 μm のレーザーを入射した. 測定の結果, 119 μm の波長ではファラデー回転が起きないことを明らかにした. (Ryota IMAZAWA *et al.*, Plasma and Fusion Research, Vol.13, 1405112 (2018) <http://www.jspf.or.jp/>)

【複写をされる方へ】本学会は, 本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています. 本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は, (社)学術著作権協会より許諾を受けてください. 但し, 企業等法人による社内利用目的複写については, 当該企業等法人が公益社団法人日本複写権センター (社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体) と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては, その必要はありません (社外頒布用の複写については許諾が必要です).

権利委託先: 一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 2F Tel: (03) 3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾 (著作物の引用, 転載, 翻訳等) に関しては, (社)学術著作権協会に委託しておりません. 直接当学会へお問い合わせください.